

# 令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大阪市立新今宮小	学校	児童数	45
----------	----	-----	----

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.10	18.10	36.00	33.85	53.18	10.06	126.80	19.40	48.05
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	14.4	19.76	39.46	36.13	41.00	10.12	137.57	13.96	53.09
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

### 結果の概要

男子は、「長座体前屈」と「20mシャトルラン」が大阪市平均を上回ったが、それ以外の種目では、大阪市平均値を上回るものはなかった。女子は「上体起こし」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」は大阪市平均を上回った。体力合計点においては、大阪市の男子平均点が51.13点に対して、本校の男子平均点は48.05点であった。また、大阪市の女子平均点は52.47点に対して、本校の女子平均点は53.09点であった。この点から、女子は瞬発力や柔軟性、持久力、そして遠投の体力は高いことがわかった。男子は、総体的に運動能力を高める必要があり、瞬発力や跳躍力の体力を高める必要がある。これらの結果から考えられることは、学校では休み時間等によく外で遊んではいるが、土日に運動やスポーツをして過ごしている割合は大阪市平均時間の3割程度の時間であった。このことから、週末に体を動かしたり、スポーツに親しんだりする環境が必要と考えられる。一方、同アンケートの「運動やスポーツをすることが好きですか」の項目では、80%以上の児童が肯定的な回答をし（男子90.9%、女子80%）スポーツや運動の重要性については理解しているようである。

大阪

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校は施設一体型の小中一貫校である。その特性を生かし、開校当初から、小学生（5・6年生）の中学校の部活動への参加を進めてきた。その結果として、各クラブ活動の活性化が図られ、成績をあげている事例もある。この活動をさらに進め、専門的な技術とともに体力面の向上もさらに図っていきたい。また、本校一貫校の特徴でもある合同での運動会では中学生の体力を身近に感じることができ、スピードや力強さに小学生の児童たちは、手本を見るように観覧している。夏の水泳学習においては、中学生と水泳学習に取り組む時間を設け、一緒に活動することで水泳学習の楽しさを感じることができた。冬場には、なわとびやかけ足を全校児童で取り組む期間を設定し、冬の寒さに負けない体力づくりに励むことができた。広い運動場がある本校の特徴を生かした取り組みを今後とも続けていきたい。さらに、運動が好きになる取り組みを進めていきたい。